

プロカリオティック グアニル酸キナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0936

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、グアニル酸キナーゼ (EC 2.7.4.8) は、化学反応を触媒する酵素です: $ATP + GMP \rightleftharpoons ADP + GDP$ 。したがって、この酵素の二つの基質はATPとGMPであり、その二つの生成物はADPとGDPです。この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素 (リン酸転移酵素) であり、受容体としてリン酸基を持ちます。この酵素はプリン代謝に関与しています。

別名 デオキシグアニル酸キナーゼ; 5'-GMPキナーゼ; GMPキナーゼ; グアノシン-リン酸キナーゼ; ATP:GMPホスホトランスフェラーゼ; GMK; グアニル酸キナーゼ

製品情報

由来	微生物
形態	液体
EC番号	EC 2.7.4.8
CAS登録番号	9026-59-9
分子量	~ 25.7kD
活性	~ 50 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.6および25°CのTEAバッファ中でNADHの存在下において、GMPおよびATPから1μmoleのGDPを生成するために必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C